

オホーツク支部活動状況報告

1 研究主題 「光る汗」「輝く瞳」「弾む心」がある体育学習

2 平成30年度活動状況

(1) 主な経過

- 6月12日 第1回常任理事・理事研修会〈北見市立美山小〉
- 8月 1日 北見市体力向上推進委員会夏季講習会
- 8月 8日 紋別市体育実技講習会〈紋別小〉
- 8月17日 「だれでも体育が好きになる準備運動特選13」～管内小中学校へ送付
- 9月29日 スポーツ研修会〈女満別カントリークラブ〉16名参加
- 10月16日 第2回常任理事・理事研修会〈美山小〉
- 11月20日 オホーツク管内公開研究大会 教育交流会
- 12月11日 役員会〈美山小〉
- 1月 9日 スキー実技研修会〈留辺蘂八方台スキー場〉
- 11日 北見市体力向上推進委員会冬季講習会
- 19日 冬季研修会・総会
- 3月27日 オホーツク管内教育実践表彰

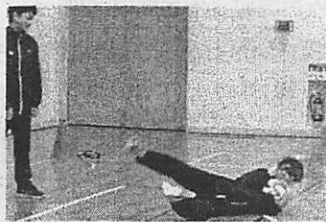
(2) 平成30年度管内公開研究会 11月20日(火)開催 ※46名参加

①小学校部会 授業者 稲葉 大輝 教諭 清里町立清里小学校
「つよく、とおくにみんなでなげよう(ボール投げゲーム)」



巨大お化け倒し(グループで玉を投げてお化けが書かれたシートを落とすゲーム)という教材を導入に用い、夢中になりボールを投げる姿が見られました。また授業の後半には、玉入れ投げ合戦を行い、2チーム対決形式でのゲームも行いました。わくわくする【弾む心】教材をもとに、仲間とかかわり合いながらコツを見つけ【輝く瞳】、夢中になって投げる姿【輝る汗】が見られた授業になりました。

②中学校部会 授業者 大西 祐貴 教諭 網走市立呼人中学校
「体育理論(文化としてのスポーツの意義)」



スポーツは、さまざまな違いをもった人々を結びつける素晴らしいものであること、パラ

リンピックといった障害者スポーツに焦点を当てて研究を推進してきました。実際にゴールボールを体験し、障がいの有無にかかわらず、スポーツは楽しめるものであることやスポーツに対する魅力は変わらないことを実感し、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックに向けて、「する」「みる」「支える」+「知る」ことでスポーツへの関心や興味を持ち、自分がどのようにかかわることができるか、3年間の体育理論のまとめの時間としての学習を進めました。

(3) スキー実技研修会〈留辺薬八方台スキー場〉

期 日 平成31年1月9日(水) ※参加者 24名
講 師 会員より5名、役員2名

(4) 冬季研修会・総会〈北海道北見体育センター〉

期 日 平成31年1月19日(土)
演 題 「スポーツ心理学に基づいたジュニアコーチング」
講 師 平間 康允 氏 合同会社ベストパフォーマンス(客員研究員)

3 平成31年度主な活動計画

(1) 第56回北海道学校体育研究大会釧路大会・代表者研修会への参加

(2) 平成31年度オホーツク管内学校体育研究会 公開研究会

期日 令和元年11月下旬 会場 北見市内小中学校

(3) 体育実技講習会等への講師派遣

北見市体力向上推進委員会や紋別市、他の市町村等へ会員より講師を派遣

(4) 学校スキー指導者実技研修会の開催

期日 令和2年1月を予定 会場 留辺薬八方台スキー場

(5) 総会及び冬季研修会

期日 令和2年1月18日(土) 会場 北見市 内 容 講演会

(6) 第57回北海道学校体育研究大会北見大会に向けた研究の推進と準備業務

4 役員

会 長	緒方 隆人	網走市立第二中学校	監 査	信本 武彦	湧別町立上湧別中学校
副会長	寺本 聡	北見市立東相内小学校		野村 克仁	北見市立高栄中学校
	田中 浩樹	網走市立第二中学校	事務局長	酒井 宏昭	北見市立上常呂小学校
	葉葺 清敏	大空町立東藻琴中学校	事務局次長	穴田 裕也	北見市立高栄中学校
	久井 俊範	佐呂間町立佐呂間中学校		村田 基知	網走市立第二中学校
	井上 暁博	紋別町立紋別小学校	会 計	杉山 英司	興部町立興部小学校
	成田 尚志	北見市立大正小学校	組織部長	小野寺哲浩	斜里町立知床ウトロ学校
	信田 雅守	北見市立三輪小学校	研究部長	木村 智史	網走市立網走小学校

《オホーツク支部ホームページ》

<https://okhotskgakutaiken.wixsite.com/oursite>